

森の
ようちえんって
どんなところ？



Photo : Tanaka Rie (てくてくスタッフ)

森のようちえん てくてく 10周年記念 上映会 2015

×

小西貴士 スライドショー

2015年11月5日 (木) 上越市市民プラザ1F 市民ギャラリー



© T. KONISHI

春から晩秋まで、雨の日も風の日も 毎日森で過ごす「森のようちえん てくてく」。
森で育つ子どもたちの、そのままの姿を3年にわたり 記録したフィルムができました。
笑い、泣き、葛藤し、自然の中で生き生きと輝く、子どもたちの日常です。

てくてく より ごあいさつ

デンマークの幼児教育 森の幼稚園を視察してきて、上越の地で夢を描きながら始めた森のようちえん「てくてく」も10年が経ちました。森で育つ子どもたちを10年見てきた中で、思うこと、言葉にできることがあります。でも、そんな私の言葉を超える”子どもの姿”から感じる事が確かなものなのでしょう。記録映像は、”森で育つ子どもの姿”をみなさんの目で見ていただけます。子どもたちの姿から、みなさんが感じたことを語り合い、より豊かな子育てや教育を考えていくきっかけとなればうれしいです。上越をもっと子どもたちが輝く地域に、そして子どもたちに子どもを生きる時間を届けたいと願いながら、皆さんのご来場をお待ちしています。

森のようちえん てくてく 園長 小菅 江美



2015年11月5日 (木)

上越市市民プラザ 1F 市民ギャラリー

(昼の部のみ お子さん連れ参加可能)

チケット料金：前売り 1,000円 当日 1,200円 小学生以下無料

◆時間 昼の部 13:00 開場 13:30 開演

夜の部 18:00 開場 18:30 開演

- ◆内容
- ・小西貴士スライドショー (30分)
 - ・トークショー「森で育つ子どもたち」(30分)
 昼の部：小西貴士 & 小菅江美
 夜の部 小西貴士 & 長谷川敬子 & 小菅江美
 - ・森のようちえん てくてく フィルム上映 (30分)

会場にて「森のようちえん てくてく 写真展」同時開催！

こにし たかし
小西 貴士

写真家 (日本写真家協会会員)
森の案内人
(公益財団法人キープ協会)



1974年京都府生まれ。写真家であり、森の案内人。子どもたちからはゴリと呼ばれる。八ヶ岳南麓、標高1,400mの清里高原一。そこに広がる森と野原で、「子どもをめぐるうまく言葉にならない素敵なこと」をテーマに撮り続ける。写真やことばを、保育誌などで発表するかたわら、広く保育や子育てを応援するため、全国各地でスライドショーや写真展を開催する。主な著書に、『みてみて！』(福音館書店)。『心をとめて森を歩く』(聖公会出版)。『子どもと森へ出かけてみれば』、『小さな太陽』、『子どもは子どもを生きています』、『子どもがひとり笑ったら…』(以上、フレーベル館)など。



オフィシャルブログ『ゴリの森のようちえん日記』
<http://ameblo.jp/gorilla-tarou/>

長谷川 敬子
上越市大潟町小学校 校長

上越教育大学附属幼稚園副校長を務められ、「遊び com」を提唱し実践された経験から、幼児教育の現場から見える学校の在り方、学校現場から見る幼児教育の在り方の両面でお話をいただくと期待しています。

「てくてく」記録撮影・編集

金子映像企画 かねこ じゅんいち
金子 淳一

チケット取扱い先

NPO 法人 緑とくらしの学校 ・ 珈琲工房かさはら
上越おやこ劇場 ・ フードサロン やさいのひ
宮崎農機具店 ・ umicafe DONA (柏崎市)

お問合せ先 NPO 法人 緑とくらしの学校

〒943-0897 上越市滝寺 251 番地

TEL&FAX 025-523-5166

Email info@green-life-school.or.jp

HP <http://www.green-life-school.or.jp>

後援：上越市教育委員会